

2025 年 10 月 30 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 九 州 経 済 研 究 所

最近の県内景況は、畜産関連が持ち直しているものの、消費関連は持ち直しの動きが一服している。一方で、生産活動、投資関連、雇用情勢が弱含んでおり、観光関連は減少している。全体として改善傾向が弱まりつつあり、今後の動きに十分注意する必要がある。

生産活動は、7月の鉱工業生産指数が2か月ぶりに前年を下回った。電子部品・デバイス、窯業・土石製品は前年を上回ったものの、食料品、汎用・生産用機械は前年を下回った。

畜産関連では、9月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A5はほぼ前年並み、去勢A4は前年を上回った。豚肉は前年を下回り、ブロイラーもも肉、むね肉は前年を大幅に上回った。鶏卵相場は前年を大幅に上回った。

個人消費関連は、8月のドラッグストア販売額、コンビニエンスストア販売額は前年を上回り、百貨店・スーパー販売額、家電大型専門店販売額はほぼ前年並みとなった。一方で、9月の乗用車新車登録台数、軽自動車届出台数は前年を下回った。

観光関連では、9月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、2か月ぶりに前年を下回った。種子島・屋久島地区は4か月連続で前年を下回り、奄美地区は3か月ぶりに前年を上回った。主要観光施設入場者数は、前年を下回る調査対象施設が多くみられた。

投資関連では、公共工事請負金額、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数のいずれも前年を下回った。

雇用情勢は、8月の有効求人倍率は前月と同水準の1.07倍となった。

【生産活動】... 弱含み

電子部品関連は、EV向けや5G関連の需要が回復していない。一方、スマホ向けなどでは底打ちの動きがみられるが、価格競争の激化や買い替えサイクルの長期化などにより、回復の時期が見通しづらい状況である。

8月の焼酎生産は、8か月連続で前年を下回った。芋焼酎がビール、ハイボールなど他の酒類との競争で苦戦しており、出荷量は9か月連続で前年を下回った。

6月のかつお節生産は、4か月連続で前年を上回った。

9月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが3か月連続で前年を下回り、民間工事向けは2か月ぶりに前年を下回り、全体では20か月連続で前年を下回った。

9月の紙パルプ生産は、3か月連続で前年を下回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年並みとなった。

【畜産関連】... 持ち直し

9月の子牛の出荷頭数は前年を下回ったが、出荷頭数の減少の影響により価格は前年を上回った。9月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A5がほぼ前年並みとなり、去勢A4が8か月連続で前年を上回った。8月の枝肉生産量は前年を上回った。

9月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は、3.0%減と2か月連続で前年を下回った。8月の枝肉生産量は前年を下回った。

9月のブロイラー相場（東京地区）は、もも肉は19.8%増と12か月連続で前年を上回り、むね肉は54.6%増と12か月連続で前年を上回った。9月の処理羽数は前年をやや上回った。

9月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は、全国的な鳥インフルエンザの影響により25.0%増と前年を大幅に上回った。8月の配合飼料価格は2か月連続で前年を下回った。

【消費関連】... 一服

8月の百貨店・スーパー販売額は、飲食料品が前年を上回り、衣料品が前年を下回り、全体ではほぼ前年並みとなった。

8月の専門量販店販売額は、ドラッグストア、コンビニエンスストアは前年を上回り、家電大型専門店はほぼ前年並みとなった。足もとでは物価高の影響で、一服

感がみられる。

9月の乗用車新車登録台数は、3か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は4.3%増、小型車が16.9%減となった。9月の軽自動車届出台数は9か月に前年を下回った。

【観光関連】... 減少

9月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は2か月に前年を下回った。九州、関東、関西、中部、台湾からの入り込みや個人客、団体客ともに減少した。自然災害やインバウンドの減少などの影響は続いている。

鹿児島地区は、九州、関東からの入り込みや個人客、団体客ともに減少し、2か月に前年を下回った。

霧島地区は、九州、関東からの入り込みや個人客、団体客ともに減少し、5か月連続で前年を下回った。

指宿地区は、関東からの入り込みや個人客、団体客ともに減少し、4か月連続で前年を下回った。

種子島・屋久島地区は4か月連続で前年を下回り、奄美地区は3か月に前年を上回った。

9月の主要観光施設入場者数は、前年を下回る調査対象施設が多くみられた。

【投資関連】... 弱含み

9月の公共工事は、件数は前年を上回り、請負金額は前年を下回った。

8月の民間建築工事着工は、棟数、床面積、工事費予定額ともに前年を下回った。

8月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲がいずれも前年を大幅に下回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均は前年を下回り、38.7%減となった。

8月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、2か月連続で前年を上回った。

【貿易関連】... 輸出額は前年を上回り、輸入額は前年を下回った

8月の輸出額は、パルプ及び古紙、木材が前年を下回ったものの、ゴムタイヤ及びチューブ、食料品及び動物が前年を上回り、全体では2.0%増と2か月に前年を上回った。輸入額は、穀物及び同調製品がほぼ前年並み、原油及び粗油が前年を下回り、全体で21.4%減と7か月連続で前年を下回った。

【雇用情勢】... 弱含み

8月の有効求人倍率は前月と同水準の1.07倍となった。県内求人数を業種別にみると、製造業と卸小売は前年を上回り、医療・福祉はほぼ前年並み、建設業は前年を下回った。

【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った

7月の県内金融機関の貸出金残高は前年を0.6%上回った。

【企業倒産】... 倒産件数は前年と同数だった

9月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が6件で前年同月（6件）と同数だった。また、負債総額は2億1百万円で前年同月（3億15百万円）を下回った。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】 ㈱九州経済研究所（Tel 099-225-7491）